

安全データシート

作成日: 2009年03月23日

改訂日: 2023年09月27日

1/9

1 化学品及び会社情報

化学品の名称

製品名 リフレα40

供給者の会社名称、住所及び電話番号

会社名 住友大阪セメント株式会社

担当部署 建材事業部

住所 〒105-8641 東京都港区東新橋1-9-2

電話番号 03-6370-2721

Fax 番号 03-6370-2759

緊急連絡先 技術グループ

緊急連絡電話番号 047-457-7651

推奨用途

鉄筋防錆剤として用いられる

使用上の制限

推奨用途以外で取扱いをする場合は、用途・条件に適した安全対策を実施の上、取り扱うこと。

2 危険有害性の要約

GHS分類

健康有害性

急性毒性（経口） 区分4

皮膚腐食性／刺激性 区分2

眼に関する重篤な損傷・眼刺激性 区分2B

特定標的臓器・全身毒性（単回ばく露） 区分2（心血管系・血液）

特定標的臓器・全身毒性（反復ばく露） 区分2（血液）

環境有害性

水生環境急性有害性 区分3

水生環境慢性有害性 区分3

注）上記のGHS分類で区分の記載がない危険有害性項目については、政府向けガイダンス文書で規定された「分類対象外」、「区分外」または「分類できない」に該当する。

GHSラベル要素

絵表示 又はシンボル



安全データシート

作成日: 2009年03月23日

改訂日: 2023年09月27日

2/9

注意喚起語

警告

危険有害性情報

飲み込むと有害

皮膚刺激

眼刺激

心血管系、血液の傷害のおそれ

長期又は反復暴露による血液の傷害のおそれ

水生生物に有害

長期継続的影響により水生生物に有害

注意書き

[安全対策]

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしない事。

取扱い後はよく手を洗う事。

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

蒸気を吸入しない事。

環境への放出は避ける事。

[応急措置]

飲み込んだ場合: 直ちに医師に連絡する事。口をすすぐ事。

皮膚に付着した場合: 多量の水で洗うこと。

皮膚刺激が生じた場合: 医師の診断/手当てを受けること。汚染された衣類を脱ぎ、使用する場合には洗濯をすること。

眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合: 医師の診断/手当てを受けること。ばく露またはばく露の懸念がある場合: 医師に連絡すること。

[保管]

施錠して保管する事。

[廃棄]

内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託する事。

3 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物(水溶液)

化学名又は一般名	含有量 (%)	化学式	官報公示整理番号 (化審法・安衛法)	CAS No.
亜硝酸リチウム	39~41	LiNO ₂	(1) -1213	13568-33-7
硝酸リチウム	5以下	LiNO ₃	(1) -765	7790-69-4
水酸化リチウム	0.1未満	HLiO	(1) -712	1310-65-2

安全データシート

作成日: 2009年03月23日

改訂日: 2023年09月27日

3/9

4 応急措置

吸入した場合	被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させる事。 気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受ける事。
皮膚に付着した場合	石鹼を使用して大量の水で洗い落とす。 酷い時には直ちに医師の手当てを受ける事。尚、汚染された衣類等は直ちに脱がして、患部を直接洗浄する。汚染された衣類を再使用する前に洗濯する事。
目に入った場合	水で数分間注意深く洗う事。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す事。その後も洗浄を続ける事。 目の刺激が持続する場合は、医師の診断を受け、手当てを受ける事。
飲み込んだ場合	口をすすぐ事。コップ1-2杯の水飲ませて胃内を薄めること。ただちに医師に連絡する事。
最も重要な急性及び遅発性症状	皮膚刺激 心血管系、血液の傷害のおそれ 長期にわたる、又は反復ばく露により血液の障害のおそれ
応急措置をする物の保護	救護の際に付着物が目や皮膚にばく露しないように、必要に応じて保護具を着用する。
医師に対する特別注意事項	ばく露から症状が遅れて出ることがあるので、十分な安静と経過観察が必要である。処置は症状に応じて行うこと。

5 火災時の措置

消火剤	大量の水。
使ってはならない消火剤	情報なし
特定の危険有害性	分子中に窒素を含有しているので、有毒なガスを放出する。
特定の消火方法	火災による加熱で当該物質が蒸発濃縮し、析出結晶が溶解した場合、熔融物の飛散を防ぐ為、棒状注水を避ける。消化活動は風上から行う。(発生ガスを吸収しない様注意する。) 周辺火災の場合に移動可能な容器は、速やかに安全な場

安全データシート

作成日: 2009年03月23日

改訂日: 2023年09月27日

4/9

消火を行う者の保護
所に移す。
消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置
作業者は適切な保護具（8.ばく露防止措置及び保護措置の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。

環境に対する注意事項
環境中に放出してはならない。
河川等に排出され、環境への影響を起こさない様にする。

封じ込め及び浄化方法と機材
漏洩物を掃き集め、密閉可能な空容器に回収し、残りは大量の水で洗い流す。
但し、大量の排水は、下記法規に抵触するので注意する事。環境基本法、水質汚濁に関する環境基準、水質汚濁防止法施行令第2条有害物質、排水基準酸類での中和は避ける事。
回収物は、砂や土、セメントで封じ込める事が推奨される。排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策
「8.ばく露防止及び保護措置」に記載の対策を行い、保護具を着用する。

局所排気・全体換気
「8.ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行う。

安全取扱い注意事項
接触、吸入又は飲み込まない事。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしない事。
取扱い後は、よく手を洗い嗽をする事。

接触回避
「10.安定性及び反応性」を参照。

保管

技術的対策
保管場所には取扱いに必要な採光、照明などの設備、および換気の設備を設ける事。

混触禁止物質
酸、酸化剤

安全データシート

作成日: 2009年03月23日

改訂日: 2023年09月27日

5/9

保管条件	屋内冷暗所が望ましい。施錠して保管する事 容器で保管する事。
容器包装材料	密閉できるプラスチック容器。

8 ばく露防止及び保護措置

管理濃度	設定されていない。
許容濃度	日本産業衛生学会 設定されていない。 ACGIH(2018年度版) 設定されていない。
設備対策	換気の良い所での使用が望ましい。 洗眼及び身体洗浄を行う設備設置も望ましい。
保護具	
呼吸器用の保護具	防じんマスク。火災時は防毒マスク(窒素酸化物用)
手の保護具	保護手袋(ゴム製)
目の保護具	保護眼鏡(ゴーグル型、サイドシールド付き)
皮膚及び身体の保護具	保護衣(液のしみこまない素材の物が望ましい。)
衛生対策	この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしない事。 取扱い後はよく手を洗う事。

9 物理的及び化学的性質

外観	
物理状態	液体
色	青色透明
臭い	情報なし
融点・凝固点	情報無し (乾燥し晶出した亜硝酸リチウムの融点は185℃。)
沸点、初留点及び沸騰範囲	情報なし
可燃性	不燃性
爆発限界・可燃限界	情報なし
引火点	情報なし
自然発火温度	情報なし
pH	8~10
動粘性率	情報なし
溶解度	
水に対する溶解性	亜硝酸リチウムとしての溶解度は、42%(0℃)。
オクタノール/水分分配係数	情報なし
蒸気圧	情報なし

安全データシート

作成日: 2009年03月23日

改訂日: 2023年09月27日

6/9

密度	比重 1.2~1.3
相対ガス密度	非該当
粒子特性	非該当

10 安定性及び反応性

安定性	pH7.0以下で、窒素酸化物ガスを発生する。 通常取り扱い条件(常温)においては安定である 非常に吸湿性が高い。
危険有害性反応性可能性	酸化性を示す。条件によっては還元性も示す。
避けるべき条件	酸、酸化剤との混合
混触危険物質	酸性物質、ヒドラジン(水和物も含む)、過酸化水素、 過マンガン酸カリウム等酸化性物質、アンモニウム塩等
危険有害性のある分解生成物	乾燥して晶出した亜硝酸リチウムを更に加熱して分解させると有毒な窒素酸化物が発生する。

11 有害性情報

亜硝酸塩類としての毒性が想定されるが、信頼に足る情報が無いため採らなかった。

亜硝酸塩としての毒性は、下記。

皮膚への長時間接触は炎症を起こす。

眼、鼻、皮膚を激しく刺激し、葉傷を生じる。吸入又は経口摂取すると、血液に作用し、頭痛、皮膚の紅潮、嘔吐、目眩等が起こる。

重症の時はメトヘモグロビン血症によりチアノーゼを起こし、脈が弱り、急性循環系虚脱を生じる。意識を失い、全身痙攣を起こして、死亡させる事が有る。皮膚からも吸収され、吸入、経口摂取した場合と同様の症状が現れる。

亜硝酸塩の中には、アミノ化合物と反応してニトロソ化合物を生成する物が有り、ニトロソ化合物の中には発癌性を示す物質が有る。

リチウム塩類としての毒性の可能性は、下記。

低ナトリウム状態時の多量摂取で、中毒を起こすとの報告例有り。

嘔吐、錯乱、腎障害、肝障害等。

急性毒性(経口)

(亜硝酸リチウム)

経口 ラット LD50 419.3mg/kg

純品で区分4、水溶液としても区分4とした。

飲み込むと有害

急性中毒を起こす恐れがある

症状としては、吐き気、嘔吐、チアノーゼ、動悸、血圧

安全データシート

作成日: 2009年03月23日

改訂日: 2023年09月27日

7/9

	降下。
急性毒性 (吸入)	情報なし
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	経験的に皮膚刺激性ありと判断。長期接触で炎症の恐れも。区分2とした。
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	経験的に眼刺激ありと判断。区分2Bとした。
呼吸器感受性又は皮膚感受性	情報なし
生殖細胞変異原性	情報なし
発がん性	情報なし
生殖毒性	情報なし
特的標的臓器毒性 (単回暴露)	他の亜硝酸化合物 (ナトリウム、カリウム) に、心血管系と血液への影響情報が有り、可能性を採って、区分2とした。
特的標的臓器毒性 (反復暴露)	他の亜硝酸化合物 (ナトリウム) に、血液への影響情報が有り、可能性を採って、区分2とした。
吸引性呼吸器有害性	データ無し

12 環境影響情報

生態毒性	(亜硝酸リチウムとして) TLm ヒメダカ 120ppm(24h)、84ppm(48h)、70ppm(72h) 当該データより、判断して、LC50(96h) >10mg/l、≦ 100mg/l程度と判断し、区分3とする。水生生物に有害。
生態蓄積性・残留性・分解性	情報なし
土壤中の移動性	情報なし
オゾン層への有害性	情報なし

13 廃棄上の注意

残余廃棄物	廃棄物処理法に該当するので、それに従う事。 施行規則別表第1 アンモニア、アンモニア化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物は都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは、地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。 具体的な処理法としては、ソーダ灰を混ぜ、水を加えてスラリーにし、次亜塩素酸カルシウムを加え静置し(数時間)、酸化された液を中和する方法も有るが、大量水
-------	--

安全データシート

作成日: 2009年03月23日

改訂日: 2023年09月27日

8/9

汚染容器及び包装

での希釈が望ましい。酸類との接触は避ける事。
容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去する事。

14 輸送上の注意

国際規制

陸上輸送	非該当
海上輸送	非該当
航空輸送	非該当

国連番号	非該当
国連分類	非該当
容器等級	非該当
海洋汚染物質	非該当

国内規制

陸上規制情報	情報なし
海上規制情報	情報なし
航空規制情報	情報なし

輸送時の特定の安全対策

食品や飼料と一緒に輸送してはならない。
輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのない様に積込み、荷崩れの防止を確実に
行う。重量物を上積みしない。

緊急時応急措置指針番号

非該当

15 適用法令

化学物質管理促進法	非該当
毒物劇物取締法	非該当
労働安全衛生法	非該当
化審法	白告示物質
環境基本法	第16条 水質汚濁に関わる環境基準 別表1 硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 (10mg/l)
水質汚濁防止法	施行令第2条有害物質 (亜硝酸化合物)
廃棄物処理法	施行規則別表第1 アンモニア、アンモニア化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物

安全データシート

作成日: 2009年03月23日

改訂日: 2023年09月27日

9/9

亜硝酸リチウム純品は、消防法第1類（酸化性固体）、船舶安全法、航空法の酸化性物質に該当します。

なお、ご使用になられる地域での、各自治体の条例に関しては、該当自治体へお問い合わせ頂きます様、お願い申し上げます。

16 その他の情報

【注意】本 SDS は、JIS Z 7253: 2019「GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル，作業場内の表示及び安全データシート（SDS）」に準じて作成しており、製品の安全な取扱いを確保するため、現時点で弊社の有する情報を取扱事業者にご提供するものです。記載内容は、現時点で入手できた資料、情報、データ等に基づいて作成しましたので、新しい知見により改訂されることがあります。本 SDS は必ずしも製品の安全性を保証するものではなく、弊社が知見を有さない危険性、有害性の可能性がありますので、取扱事業者は、これを参考として、個々の取扱い、用途、用法等の実態に応じた安全対策を実施の上、お取扱い願います。